

令和3年9月10日号 (第221回)

阿伎留通信

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

今回の阿伎留通信は、「骨密度について」をテーマに、放射線科 骨密度検査担当の塩路技師よりお話しさせていただきます。

塩

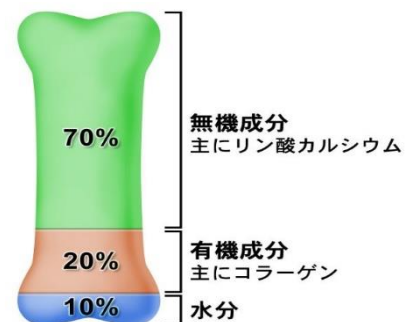
先日、骨密度検査を受診された患者さんから「なぜ“骨塩”→“塩(しお)”っていうの？」と尋ねられました。

「骨塩」を英語で訳すと「bone mineral (ボーン ミネラル)」となります。この「ミネラル」とは、リンやナトリウム、カルシウム、カリウム、マグネシウム、硫黄、鉄などを指し、これらを総称して「無機塩類」と呼びます。ということで「塩」という字が入るわけです。

骨粗鬆症

骨は、この「無機塩類」が70%を占めます。あとは「有機成分」(コラーゲン)が20%、水分が10%から成り立っています。これらの成分が不足してくると、骨の強度は弱まり、骨折の危険が高まります。骨(の密度)がスカスカな状態が骨粗鬆症です。

ただ、骨が脆くなってもほとんど自覚症状はありません。骨密度を把握しておくことが大切です。



3人に1人

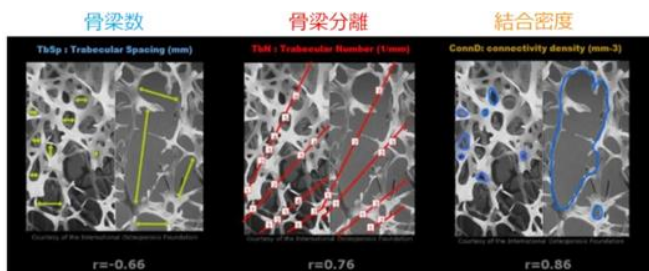
50歳以上の3人に1人は骨粗鬆症といわれています。主な要因としては、①女性ホルモンであるエストロゲンの欠乏、②加齢、③運動不足などの生活習慣、が考えられます。それ以外にも、病気や薬の影響によって二次的に起こるものもあります。甲状腺機能亢進症やクッシング症候群などの内分泌疾患、ステロイド薬の内服、糖尿病・関節リウマチ・慢性腎臓病等の疾患、がそれらです。

新たな技術

当院では従来の骨密度の測定に加え、骨密度評価を補足する指標として、昨今、学会等でも話題を集めている海綿骨構造指標※（Trabecular Bone Score: TBS）により、腰椎の骨微細構造を把握し、より正確な骨折リスクを評価することが可能です。

※海綿骨構造指標…X線骨密度撮影装置で撮影された腰椎画像をテクスチャー解析して算出される指標。この指標が骨梁数、骨梁間隙、連結精密度といった骨の構造の指標と相関するといわれています。

・骨密度を表す骨構造のイメージ



参照：海綿骨構造指標 TBS について | GE Healthcare (Japan)

・令和3年3月に導入したX線骨密度撮影装置

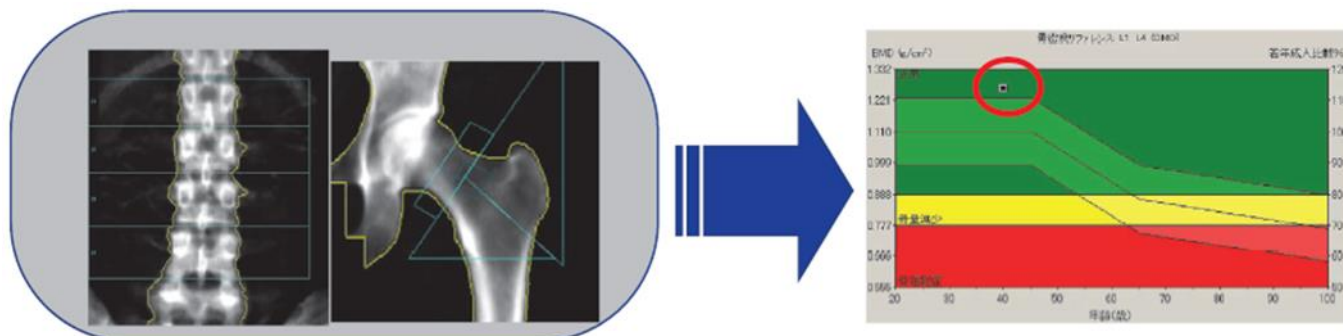


お気軽にご相談を

現在、予防・診断や治療のための技術や治療薬が進歩しています。早い段階で骨密度の状態を把握することで、良い効果が期待できます。当院では、ガイドラインに基づいた部位にて骨密度を測定しています。X線を用いますが被曝はごく僅かです（胸部X線の6分の1）。

検査時間は約10分程度で、ベッドに横になってもらうだけで検査による痛みなどを伴うことはありません。気になる方は一度検査してみたいはいかがでしょうか？人間ドックにて測定可能ですし、外来受診でも構いません。お気軽に主治医にご相談ください。

・骨密度検査の画像と骨密度評価レポートの例



阿伎留通信については、バックナンバーを公立阿伎留医療センターのホームページで御覧になることができます。ホームページアドレス(<http://www.akiru-med.jp>)